

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	学年(コース)	4 学年
使用教科書	桐原書店『探求 言語文化』				
副教材等	第一学習社『新訂総合国語便覧』、尚文出版『古文単語325』、 いっずな書店『これでわかる 明快古典文法』、尚文出版『構造から読み解く これからの漢文』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

大学進学を想定している生徒が大多数を占めることから、

- ① 基本的な言語事項について、表現方法や文脈を踏まえた活用ができる正確な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、根拠を含む論理性を備えた思考力を身につけることを目指します。
- ③ 自分の思考を的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
- ④ 発展的な知識教養にも触れ、自発的に見識を深める姿勢の習得を目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	古文入門	4 「C 読む こと」	古典と文化・古文と古語 児のそら寝	・古文を学習する意義を理解する。	a c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	漢文入門	2 「C 読む こと」	漢文を学習するということ／漢文の基礎	・平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。	a c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
5	漢文入門	3 「C 読む こと」	推敲 知音	・中国の寓話に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句等を正しく理解する。 ・基本句形、語彙の読みと意味を理解する。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	古文入門	4 「C 読む こと」	検非違使忠明のこと 鷹使いの見た夢	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
6	随筆と日記	6 「C 読む こと」	徒然草 枕草子	・随筆を読んで、人間、社会等に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
7	近代の小説	8 「C 読む こと」	羅生門	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・小説に描かれた登場人物・情景・心情等を、表現に即して読み味わう。 ・登場人物の心情の変化について、場面の展開に即して考える。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
8						
9	史伝	4 「C 読む こと」	鶏口牛後 鶏鳴狗盗	・文章を繰り返し読み、訓読のリズムをつかみながら、あらすじを理解する。 ・史話に描かれた情景や人物の心情等を表現に即して読み味わう。 ・話の展開に沿って、登場人物の言動や心情を考える。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
10	物語と軍記	5 「C 読む こと」	伊勢物語	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	近代の小説	4 「C 読む こと」	猿が島	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・小説に描かれた登場人物・情景・心情等を、表現に即して読み味わう。 ・登場人物の心情の変化について、場面の展開に即して考える。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
11	随筆と日記	4 「C 読む こと」	土佐日記	・日記を読んで、人間・社会等に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・内容を展開に即して的確にとらえる。 ・文章の表現上の特色を理解する。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	伝統と文化	4 「C 読む こと」	場所の記憶を 残す恋歌	・日本独自な風景の記憶のしかたを理解する。 ・独特な言い回しを用いて筆者が伝えようとしていることを読み取る。	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

12	詩文	4 「C 読むこと」	五言絶句 五言律詩 七言絶句	<ul style="list-style-type: none"> 中国文学の精華である唐詩を読み味わい、代表的な詩人についての文学史的知識を身につけ、漢詩への関心を深める。 詩人の自然観や人生観が情報ごどのようによまれているかを考える。 それぞれの詩について、詩形・押韻・構成等の漢詩のきまりについて理解する。 	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	和歌と俳諧	2 「C 読むこと」	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の優れた表現に親しむ。 思想・感情・情景を読み取る。 和歌の修辞技巧、時代背景、表現・語法上の特色を理解する。 	a b c	
1	和歌と俳諧	2 「B 書くこと」	奥の細道	<ul style="list-style-type: none"> 思い出に残る情景を、「奥の細道」各章の表現上、文体上の工夫を参考に、現代語で書く。 	b c	授業観察 発問評価 課題点検
	思想	2 「C 読むこと」	論語 孟子	<ul style="list-style-type: none"> 中国の思想を代表する儒家思想の概略をとらえる。 孔子や孟子の思想について理解するとともに、それらが現代においてどのような意味をもっているかを考える。 	a b c	
2	近代の短歌・俳句	4 「C 読むこと」	近代の短歌 近代の俳句	<ul style="list-style-type: none"> 近代の短歌、俳句について、それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。 詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。 	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	近代の短歌・俳句	3 「B 書くこと」	近代の短歌 近代の俳句	<ul style="list-style-type: none"> 自分の周りの風景を見て短歌を作る。 	b c	
3	物語と軍記	5 「C 読むこと」	平家物語	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 音便について理解する。 敬語について理解する。 	a b c	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

計 70 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	B 「書くこと」 5時間	C 「読むこと」 【古典】45 時間	C 「読むこと」 【近代以降の文章】20 時間
-----------------	-----------------	-----------------------	----------------------------

6 課題・提出物等

- 家庭学習用の課題を適宜指示します。
- 長期休業中の課題について別途指示します。

7 担当者からの一言

「言語文化」は、「書く」、「読む」など様々な活動を通して、知識だけでなく、論理的読解力や思考力、表現技法等を身につける科目です。古文、漢文など近代以前の文章（古典）だけでなく、近代以降の詩や小説も扱うなど、内容が多岐にわたります。様々な言葉の力を高められるよう、積極的に授業に臨んでください。

(担当：津野)